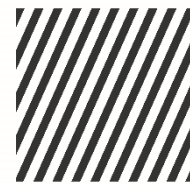


地域活動の活性化に向けたワークショップ

玉櫛地区ニュースレター

Vol.02 令和4年10月

次なる
茨木へ。



玉櫛地区では、「あなたの好きな玉櫛がもっと楽しく続くためのプチ・アイデアを出し合おう」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和4年10月1日(土)に開催した第2回のワークショップでは、第1回ワークショップで導き出した「高齢者の居場所づくり」、「SL広場やコミセンの活動」、「子ども達の見守り活動」、「公園や広場の新しい使い方」の4つのテーマに分かれて、2つのグループワークを行いました。

ワーク1：テーマごとに魅力や課題を話し合おう

第1回ワークショップでも、玉櫛地区の魅力や課題について意見を出し合いましたが、**玉櫛地区におけるテーマごとの現状**を把握するために、ワーク1では第1回話し合い内容を踏まえて、改めてテーマごとの**魅力と課題**、今後どのようにしていきたいかという**将来の展望**について意見を出し合いました。

○各グループのテーマと主な話し合い内容（抜粋）

グループ1

テーマ：「SL広場やコミセンの活動」、「公園や広場の新しい使い方」

- ・小さい公園はいくつもあるが、あまり知られていない。
- ・利用方法や管理方法を考えることが必要では。
- ・ボール遊びをすところがない、自由に遊べる場所がない。

グループ2

テーマ：「高齢者の居場所づくり」、「子ども達の見守り活動」

- ・複数の団体の方が、同じ場所に立っていることがある。見守り活動をしている団体間で、もっと連携できると良い。
- ・高齢者の居場所づくりと、子ども見守りはリンクする活動！

グループ3

テーマ：「子ども達の見守り活動」

- ・最近も不審者情報があって怖い、見守りは無くてはならない取組み。
- ・保護者からすると子どもをいい意味で叱ってくれるのでありがたい。
- ・地元の企業の協力を得られるとよい。

グループ4

テーマ：「SL広場やコミセンの活動」、「公園や広場の新しい使い方」

- ・水尾公園にはかまどベンチがあるが、使ったことがない。
- ・ボール遊びができる公園が少ない。どこまで許可できる？
- ・もっと子供が自由に遊べる、使いやすい公園にしたい。

◆第2回実施概要

日時 2022.10.1 (土) 10:00~12:00

会場 玉櫛コミュニティセンター

参加者数 21人

プログラム

- 1 会長挨拶
- 2 前回の振り返り
- 3 色紙ゲーム (アイスブレイク)
- 4 グループごとに自己紹介
- 5 ワーク①:テーマごとに魅力や課題を話し合おう。
- 6 ミニ講座:活動や場所を楽しくするプチアイデアを学ぼう！
- 7 ワーク②:自分たちができると思っていたことを話し合おう。
- 8 グループ発表 (全体共有)

ミニ講座：活動や場所を楽しくするプチアイデアを学ぼう！

ワーク2に進む前に、現在話し合っている各テーマについて考える上で、参考になりそうな事例を学ぶミニ講座を実施しました。ミニ講座では、①公園や広場を楽しくするには？②活動を無理なく続けるためには？③活動をみんなに知ってもらうには？という3つの視点で、他の地域で実践されているいくつかの事例を紹介しました。

○紹介した他市事例の1つ「できる看板」(東京都足立区)



足立区では、あれもこれも禁止するのではなく、地元自治会と協議したうえで、「できること」を看板に表示しています。例えば、ボール遊びを一概に禁止するのではなく、「軟球のキャッチボールはOK」「リフティングやパス回しはOK」など、できることが明確に示されています。

ワーク2：自分たちができるといったことを話し合おう。

ワーク2では、ミニ講座の内容を踏まえて、ワーク1で出し合った「課題」を解決し、「将来の展望」に近づくためにどのようなことが出来そうか・どんなことをやってみたいかについて、グループごとにアイデアを出し合いました。



○各グループのテーマと主な話し合い内容 (抜粋)

グループ1

- ・玉籾地区の公園マップを作成しよう
- ・SL 広場におもちゃを持ち寄って、広場を子どもの遊び場に

グループ2

- ・それぞれの組織が連携すれば役員数も負担も減らせる、そのためにも見守る人の連携を進めよう

グループ3

- ・できるときにできることを！散歩や通勤・買い物など、日常の中でも、子どもに何かあったら声をかけよう

グループ4

- ・防災訓練を兼ねて、水尾公園のかまどベンチで炊き出しをしよう
- ・公園で BBQ やキャンプをやってみたい！まずはデイキャンプからチャレンジ

次回、最終回のワークショップは11月5日(土)。これまでの話し合い内容を踏まえて、今回出たアイデアを実際に実現していくためのワークシートを作成し、今後の活動に繋げるためのワークショップを行います。